

モードチェンジ

話し言葉から書き言葉へ

日本語では、人と話をするのか、人に読んでもらうための文章を書くのか、どんな人と話をするのか、どんな人に読んでもらうのか、などによって話し方、書き方を切り替えます。小論文などの文章は改まった、硬い書き方をします。

この課の
学習
ポイント

- ・話し言葉から書き言葉への切り替え
- ・硬い文章を書くときに使われる言葉



ポイント
1

小論文を書くときに注意すること

小論文を書くときは相手に話すような文体ではなく、硬い文体で書きます。注意点をいくつかまとめましょう。

くだけた会話の場合と小論文の場合の違い - 1

日本語ではそれぞれの文体に合った言葉を選んで使います。くだけた会話で使う言葉と小論文などを書くときに使う言葉を使い分けることが大切です。

| | 話し言葉や軽い文章では 例 | 小論文では 例 |
|-------|---|---|
| 接続の言葉 | ～から だから ですから でも だけど だって | ～ため そのため したがって しかし だが というのは なぜなら |
| 副詞など | いっぱい すごく とっても あんまり やっぱり ちょっと 少々 どんどん だんだん ぜんぜん そんなに もっと ぴったり もう やっと | 多数 大勢 非常に あまり やはり 少し わずか 急速に 次第に 徐々に 全く それほど さらに より ちょうど すでに ようやく |

| | | |
|--------------|--|---|
| | ちゃんと | 正しく きちんと 整然と 十分に しっかり |
| 擬音語 擬態語など | ぺちやくちゃしゃべる 風がピューピュー吹く ぺらぺら話す ごちゃごちゃになる | にぎやかに話す 強い風が吹く なめらかに話す 軽い口調で話す 乱れる 混乱する |
| その他 | ～なんか ～だって ～だって (伝聞) こんな そんな あんな いろいろな ～みたい だめだ | ～など ～でも ～そうだ ～とのことだ ～と言われている このような そのような あのような いろいろな さまざまな ～のよう いけない よくない |

練習 1-1

どちらか適当な方を選びなさい。

1. <レポート> 最近、携帯電話のマナーの悪さが (a すごく b 非常に) 目につく。
2. <論説> A 氏の意見は一般の人には (a ぜんぜん b 全く) 理解できないだろう。
3. <研究書> 作家〇〇の小説のテーマは最近 (a 少々 b 少し) 変わった。
4. <報告書> 売上高は確かに伸びている。(a しかし b だけど)、これは一時的なものだと考えられる。
5. <新聞> 国道 18 号線で事故があり、(a ずっと b 長時間) 渋滞が続いた。
6. <校則> 自転車通学者は交通規則を守ること。なお、オートバイでの通学は (a だめだ b 認めない)。
7. <レポート> このような例は (a 多数 b いっぱい) ある。
8. <レポート> 町の様子は (a どんどん b 急速に) 変わっていった。